

### 第3回 広域系統整備委員会コスト等検証小委員会 議事要旨

日時 平成29年9月12日(火) 13:00～16:00

場所 中部電力株式会社 東清水変電所会議室

#### 出席者

##### <委員>

- |       |                                 |
|-------|---------------------------------|
| 加藤 政一 | 委員長 (東京電機大学 工学部電気電子工学科 教授)      |
| 田中 誠  | 委員 (政策研究大学院大学 教授)               |
| 新里 智弘 | 委員 (公認会計士)                      |
| 洞口 明史 | 委員 (東海旅客鉄道(株) 建設工事部 担当部長)       |
| 竹島 尚弘 | 委員 (関西電力(株) 電力流通事業本部 工務部長)      |
| 松本 泰崇 | 委員 (九州電力(株) 送配電カンパニー 電力輸送本部 部長) |

##### <オブザーバー>

- |       |   |
|-------|---|
| 宮崎 宏和 | オブザーバー (東京電力パワーグリッド(株) 系統計画室 広域連系技術グループ GM) |
| 舘 竜司  | オブザーバー (中部電力(株) NW企画室 設備総合計画G G長)           |
| 小林 達生 | オブザーバー (中部電力(株) 工務技術センター 直流G 副長)            |
| 馬場 周二 | オブザーバー (中部電力(株) 東清水変電所 所長)                  |
| 岡部 孝継 | オブザーバー (電源開発(株) 流通システム部 部長 )                |

(以上 敬称略)

#### 配布資料

- (資料1) 東清水変電所設備視察について
- (資料2) 東清水変電所FC増設工事について(中部電力)
- (資料3) 新佐久間FC(仮称)の工事概要(電源開発)
- (資料4) 「東京中部間連系設備に係る広域整備計画」における「275kV 東清水線(仮称)新設工事」について(東京電力 PG)
- (資料5) 東清水変電所説明資料
- (資料6) 東清水変電所パンフレット

## 1. 東京中部間連系設備に係る広域系統整備計画の工事概要

- ・事務局から資料1により、今回の設備視察の目的および確認点などを説明し、オブザーバーの中部電力、電源開発、東京電力PGから資料2、3、4により、今回の工事計画の概要および工事実施時の留意事項などについて説明があった。

(主な意見、質疑)

- ・東清水変電所の工事では、既設変電所への増設に伴う構内の制約事項がある中で、1FCと3FCの工事は同時に実施しなければならないのか。また工事期間中に既設2FC関係工事は予定されているのか。  
⇒ (オブザーバー) 運開時期に間に合うためには、一部の工事については工程を重複して行うこととなる。2FCについては現時点で1FC、3FCの工事に影響を与えるような工事は予定していない。
- ・既設の設備との接続などにより、2FCの停止する期間はどのくらいを予定しているのか。また、工事実施中の2FCへの安全対策はどのようなことを考えているのか。  
⇒ (オブザーバー) 現時点では具体的な停止期間は決まっていないが、2年前までに広域機関へ作業計画を提出し、調整したうえでなるべく運用への影響を少なくできるようにしたい。また、安全対策は、標識や区画など作業員の誤認防止対策などを実施する予定である。
- ・自励式変換設備はメーカーが採用する方式により設備構成が異なるので敷地面積や建物構造などが変わるが、メーカー選定においてこれらの費用も評価するのか。  
⇒ (オブザーバー) それらも含め総合的に評価する予定である。

## 2. 東清水変電所他の設備視察

- ・中部電力より、資料5及び資料6により、東清水変電所の概要や既設の周波数変換装置について説明があり、その後設備視察を行った。
- ・議題1を踏まえた制約事項の確認や設備の規模感などについて、各委員より質疑があった。

## 3. 質疑・講評

- ・議事2の東清水変電所現地視察後に、質疑講評を実施。

(主な意見、質疑)

- ・現地を視察し、改めて1FCと3FCの工事を同時に工事することの大変さが理解できた。それを踏まえると、経済的な評価は難しいと思うが、1FCと3FCは同一メーカーで施工したほうが効率的で、安全面としては良いのではないか。  
⇒ (オブザーバー) 発注の単位については現時点で検討中である。一般的には同じメーカーが施工する方が現地のやり取りなどは効率的にできる印象ではある。

- ・メーカー決定後に工程の見直しの可能性はあるのか。  
⇒（オブザーバー）メーカーの提案内容により土地造成範囲や建物工事が決まってくる為、それらを踏まえると、現在のスケジュール案から変更となる可能性はある。
- ・東清水変電所の用地事情や現存する設備の状況をメーカーにも充分説明して、幅広に提案を受ける環境を作る必要があるのではないか  
⇒（オブザーバー）メーカーにもしっかり説明させて頂く。
- ・今回は自励式を採用する予定であり、既設 2FC の他励式と方式が異なるが、協調対策は必要ないのか。  
⇒（オブザーバー）今回の発注の際に、既設への影響が無いように対策することを仕様書に記載し、どの様なメーカーでも協調出来る様にする予定である。

（事務局）今回の視察のイメージを持ちながら、今後小委員会での検証対応を進めて頂きたい。

以上